

「上海・蘇州&江南の春」

2008年3月訪問記

参加者 蠟山、樋口（松木）、山崎 017A、塚田夫妻、小林

3月28日(金曜)

塚田夫妻は、一日前に上海入り。アスターハウスホテル(浦江飯店)に宿泊。このホテルはアインシュタインやチャップリンが泊まった部屋の一角を売りにしている。

3月29日(土曜)

<塚田夫妻の活動：上海博物院>

日本からのメンバは12:50頃に出発。16:05に上海到着、外に出ると蠟山が待っていてくれた。なぜか大きなかばんを持っている。理由を聞くと昨日着いた塚田の荷物が行方不明になってしまっていたと言う。それが出てきたので受け取りに来たと言う。

<初めてのリニアモーターカー乗る>

17:22に出発。ちょうど8分で上海に到着。地下鉄に乗り換える。南京東路駅で降り、外に出ると小雨。通りでタクシーを捜す。タクシーは塚田夫妻が宿泊している浦江飯店に向かう。



<浦江飯店で塚田夫妻と会う>

せっかくなので塚田の部屋の見学に行く。木材をふんだんに使用している歴史を感じる建物、部屋であった。アインシュタインやチャ

ップリンの泊った部屋のあるところも見学&写真撮影。

<夕食は舟山漁村>

18:30「舟山漁村」と言うシーフードレストランに着く。中に入ると魚、海老、イカ、貝類、前菜、等々が並べてある。これらの中から食べたいものを選び、料理してもらう方式。



頼んだものが徐々に出てくる。目で見て頼み、食べるという方式に満足。

<外灘(わいたん)の夜景見学>

21:20にレストランを出て、これを見なければ上海に来たことにならないと、外灘の夜景見学に行く。約30分見学。

22:00頃に別れてそれぞれの宿泊先に移動。塚田夫妻とは本日本日お別れ。

<蠟山宅第1日目の夜>

22:10に蠟山宅29階に着く。2つの部屋に分かれるが、すぐに酒盛りが始まる。

白酒（パイチュウ）、赤ワイン（Great Wall）を飲む。ハミ（哈密）瓜がおいしい。1



2:00になり、明日もあるので就寝。

3月30日(日曜) 曇り時々小雨

<朝食>

蠟山が、朝ごはんの支度をして待っている。肉まん、アンマン、哈密瓜等の果物を用意してくれている。「瑞虹新城」と言うマンション群。塙で囲まれている。

<朝の見学>

8:50に「花鳥古玩市場」で、花、コオロギ、鳥、イモリの店を見学。



9:00に塚田のホテルに向かう。10分ほどで到着。ホテルのロビーは古めかしく荘厳。途中、竹で足場を作っている建設現場を見てびっくりする人。2010年の上



海博で地下鉄工事をあちこちでやっている。

<魯迅故居>

10:00頃に魯迅故居に着く。周囲の雰囲気を感じて楽しむ。3階建ての日本人の租界をした地域である。



<食材市場>

10:20に食材市場に行く。慈姑（くわい）、各種野菜類、魚介類、田うなぎと言うドジョウかうなぎの中間の大きさのものも売られている。黄色い魚もある。食用カエルも。



<上海魯迅記念館>



10:40頃魯迅公園の前で記念写真。



<魯迅公園の名物>

11:30に博物館を出る。人が群れて合唱をしている。100名近くだろうか、全員で一生懸命に歌っている。良い調べで、蠟山いわく、チベットに近い高地の人達の澄み切った歌だとの解釈。

漢詩が書いてある扇子を売っている。小林も購入を決め、王羲之の『蘭亭序』の書のものを購入し、名前や日付を記念に書いてもらう。20元。



<瑞金賓館でのタイ料理昼食>

店は古い装飾で飾られている。仏教関係のものが多いが、フラワーデコレーションも目立つ。



<東方明珠>



15:05に東方明珠(Oriental Pearl)に着き、一人85元の263mまで行くことができるチケットを購入。少し曇っているが近場はかすみながらも見える。



<豫園>

次は豫園に向かう。16:35に豫園に着き、見学、買い物開

<小林のデジカメ掏られる>

17:50頃お店を出たところの通りで塚田が大きな声でドロボーと言うようなことを叫ぶ。奥さんが塚田のポケットからデジカメをスーと引き出すのを見て、声をかけるとシラーと元に戻し立ち去っていったと言う。びっくりして、小林も自分のデジカメをコートのポケットに探す。ジワーとする。何か軽い。存在感なし。やられた。記念の写真がなくなった、無念、申し訳ない、の感覚がまずはじめ。次にジワリと悔しさが高まる。

<カニのお店、王宝和酒家で夕食>

<カラオケにも>

塚田の会話力のリハビリにカラオケに行こうという話が持ち上がる。20:30から22:15まで、カラオケ。塚田は、障害後はじめて歌うと言う。塚田の十八番の津軽海峡冬景色と谷村新司の群青を以前と変わらずにうまく歌う。

<蠟山宅第2日目の夜>

22:40に蠟山宅着。小林は、明日のカメラを蠟山に借りることにした。今日は静かに就寝。

3月31日(月曜)

曇りだが、たまに薄日がさす

<朝食は豪勢>

7時に朝食。ちまき、草もち。フルーツは、ラカンカ(ライチのようなもの)、スターフルーツ、ハミ瓜(哈密瓜)、ドラゴンフルーツ(白い果肉にゴマのような黒い粒が入っているような見た目)、オレンジの盛り合わせ三昧。



<マイクロバスで蘇州・同里へ>

本日の予定は、虎丘、寒山寺、拙政園、同里のルートと決定。

<虎丘>

虎丘の入場料は40元。まず運河が目に入ってきた。早速写真撮影。



塚田が山頂まで登っていけるよう、蠟山が籠を見つけてくる。塚田も安心して?身を任せているのか、すっぽりと籠の中の人になっている。



塚田はよく昇ってきたと感激で写真撮影を楽しむ。籠代は100元でした。

次の寒山寺に向かう。途中柳の緑がきれい。運河の柳の青々さがきれい。これを江南の春と言うのか・・・5月になると柳絮と言う糸状の白いものが風に舞うと言う。観光客は喜ぶが、現地の人は邪魔扱い。

<寒山寺>

12:05に寒山寺の駐車場に着く。歩いて正面入り口まで行く。壁に仏教関係の言葉や漢詩が書かれている。記念写真も。



<楓橋夜泊>

次は、楓橋夜泊に行く。



次の詩を思い出してください。

月落鳥啼霜滿天
江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺
夜半鐘聲至客船 張繼

そばの観光地の食堂に入る。

- ・ トウミョウ(豆苗) ・ 卵に太湖白さかな
- ・ 東坡肉 ・ 豆腐のこま切れと菜
- ・ セリと豆腐干し ・ じゅんさいスープ
- ・ チャーハン ・ タンメン(高菜、肉細切り)

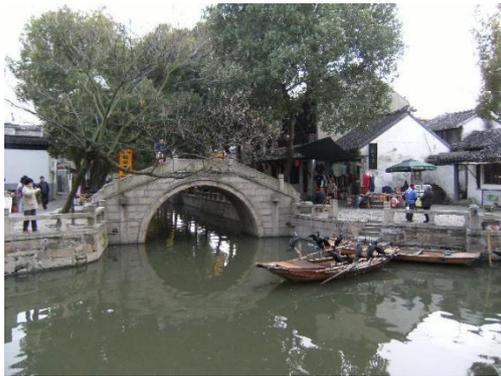
<拙政園>

14:00頃に拙政園に向かう。14:30に拙政園に着く。太湖の石が沢山飾られている。花香鳥語。盆栽園。みずみずしい柳と池。花かいどう。ここは世界遺産。



<同里>

16:00に同里に向かう。人力車1台を塚田用に借りる。古鎮と言われる運河の町。景色はしっとりとしてすばらしい。どこも写真にぴったり。塚田の人力車は、途中で運河の反対側を進む。三橋と言うところで再会の予定。



3つの橋、三橋のそばに塚田が写真を撮りながら皆が来るのを待っていた。鵜飼もある。人力車の親切に対し、10元足して30元でもう少しよろしくと頼む。記念写真も撮る。



<上海への帰路>

17:30に同里を出、上海に向かう。

19:10頃に外灘そばに来て、東方明珠の先頭まで見える。

<蠟山宅そばの町のレストラン>

19:30に蠟山宅そばのレストランに着

く。レストランでの料理はおいしかった。ここの麺が一番おいしい。他の人も同意。



20:30支払い。なんと飲み物を入れて306元、一人750円でびっくり。

<蠟山宅第3日目の夜>

21:00に蠟山宅に戻り、最後の酒盛り。Great Wine、チベット産ワイン、山東省のワインを楽しむ。ありがとう。

荷造りをして23:30に寝る。明日は8:30には空港に向け出発の約束。

4月1日(火曜)

段々天気はよくなっている

<今日はフルーツ中心の朝食>

<空港に向けて>

9:30に空港着。チェックイン。5人横並び。

<蠟山に別れ、空港内でまた買い物>

しかし、出発が20分ほど遅れる。

<機中から成田へ>

ほぼ1時間遅れで到着。荷物を各自受け取り解散。小林は、蠟山に無事帰還を携帯メールで報告。